

森のたより



2020年1月発行
発行者：流山市立森の図書館
指定管理者：株式会社すばる
住所：流山市東深井991
電話：04-7152-3200

謹賀新年

新春を迎え、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。
本年も森の図書館のご愛顧を宜しくお願い致します。

☁️ 今年は「子(ね)年(どし)」です！ 🐭

令和2年は「子年」です。本来、干支とは十干と十二支を組み合わせたものであり、今年の干支は「庚子」になりますが、十二支としての子について動物にあてはめると鼠（ねずみ）になります。

🐭 ねずみはなぜ十二支で1番目？ ☁️

ねずみが十二支【子(ね)、丑(うし)、寅(とら)、卯(う)、辰(たつ)、巳(み)、午(うま)、未(ひつじ)、申(さる)、酉(とり)、戌(いぬ)、亥(い)】の1番目になった由来を表す民話があります。神様が期日を定めて動物たちを呼び集め、十二支を決めました。ウシは足が遅いので早く出かけ、ネズミは牛の背中に乗り神様の前に最初にとび出し、子(ネズミ)、丑(ウシ)の順となりました。ちなみに、ネコはネズミにだまされて1日遅れ、そのことを恨んでネズミを取るようになった、「ネコがネズミを取るわけ」という話も合わせて伝えられています。

👍 十二支の由来が分かる！流山市内図書館所蔵資料

- ・「日本昔話事典」(著：稲田浩二／出版社：弘文堂／請求記号 388)
- ・「民話・昔話全情報」(出版社：日外アソシエーツ／請求記号 388)
- ・「十二支のはじまり (日本むかしばなし)」(著：いもと ようこ／出版社：金の星社／請求記号 E イモ)
- ・「どうして十二支にネコ年はないの？」(著：ドリス・オーゲル／出版社：徳間書店／請求記号：E ソ)

また、中国の『漢書』では、「子」は、繁殖するという意味をもつ「孳」という字から、新しい生命が種子の中にきざし始め、新しい物事や運気のサイクルの始まる年になると考えられています。

📖(参考資料「世界の名著 12 中国の科学」出版社：中央公論社／漢書律曆志翻訳：川勝義雄 橋本敬造／請求記号：08)

イベント PICK UP !

ユニバーサルスポーツ 子ども創作教室

ボッチャ

を やってみよう!

ボッチャ ってなに？

老若男女、障害のあるなしに関わらず全ての人を楽しめるスポーツです。ルールの説明付きなので、初めてボッチャをする人でも安心して参加できます。ご家族やお友達と最高の思い出を作りましょう！

2020年2月16日(日) 10:30~11:30 (開場 10:15)

場所：森の図書館 視聴覚室
定員：8グループ小学生までのお子様を含めたご家族や、お友達とのグループなど。介助が必要な方は同伴でご参加ください。
申込方法：1月22日(水) 10:00~お電話または、直接カウンターへ。

